茨城県考古学協会 古代瓦シンポジウム

瓦から読み解く古代社会の諸相

－基礎資料の集成と分析－

2023年
9/23(土)・24(日)
会場：茨城県立歴史館講堂

【共催】茨城県立歴史館

○参加無料（資料集は別途販売）
○申し込み不要、先着200名

石岡市 瓦塚窯跡出土瓦
（同市教育委員会所蔵）

瓦から読み解く古代社会の諸相

－基礎資料の集成と分析－

茨城県は、『常陸国風土記』という恵まれた史料が残存したことから、古代史研究を進めるうえで看過できない重要な地域である。そうしたなかで、古代瓦の研究は古代社会の政治・仏教史などを考えるうえでの重要な研究テーマのひとつである。

茨城県の古代瓦研究の基盤となった茨城県立歴史館の『茨城県における古代瓦の研究』発刊から29年が経ち、その間、多くの寺院や官衙、窯跡の調査の進展が見られた。本シンポジウムをとおし、こうした遺跡の調査成果も踏まえ新たに県内出土古瓦の集成を図ることで、瓦生産の時期や需給体制、近隣諸国との関連など多角的に分析を行い、古代社会の諸相に迫る。

9/23（土）

10:30ー10:35　開会挨拶
10:35ー11:00　趣旨説明
11:00ー11:30　多珂郡の様相
11:30ー12:00　久慈郡の様相
12:00ー13:00　昼食休憩
13:00ー13:45　那賀郡の様相
13:45ー14:15　行方郡・香島郡の様相
14:15ー14:30　休憩
14:30ー15:15　新治郡の様相
15:15ー15:45　白壁郡の様相
15:45ー16:15　信太郡の様相

9/24（日）

9:00 ー 9:45　茨城郡の様相
9:45 ー10:15　筑波郡の様相
10:15ー10:45　河内郡の様相
10:45ー11:00　休憩
11:00ー12:00　下総国結城郡・岡田郡・猿島郡の様相
12:00ー13:00　昼食休憩
13:00ー14:30　パネルディスカッション
14:30ー14:35　閉会挨拶

誌上報告

①陸奥国の瓦からみた常陸国との地域間関係
②常陸における瓦導入期の製作技法と地域的様相
③国分寺系瓦の変遷と分布の背景
④文字瓦について
⑤国と郡域を超える瓦の伝播とその背景
⑥渡来系の瓦塼について
⑦茨城県における須恵器杯の編年
⑧寺院・官衙・道の関係
⑨古代末から中世の瓦

※会場にて一部の瓦を展示予定

上段：石岡市 瓦塚窯跡出土瓦（同市教育委員会所蔵）
中段：常陸太田市 長者屋敷遺跡出土瓦（同市教育委員会所蔵）
下段：筑西市 新治廃寺跡出土瓦（桜川市教育委員会所蔵）

○参加無料（資料集は5,000円で販売予定）
○申し込み不要、先着200名
○お問い合わせ

茨城県考古学協会
古代瓦シンポジウム実行委員会事務局
メール：kodaigawara@googlegroups.com

【茨城県立歴史館】　茨城県水戸市緑町2-1-15
≫茨城交通バス　常磐線水戸駅（北口4番乗り場）、「桜川西団地」行きなど偕楽園方面行き乗車、「歴史館偕楽園入口」下車、徒歩2分
≫常磐自動車道水戸ICから約7km、15分

※茨城県立歴史館HPより